

2026年度 学校法人東北学院 事業計画及び予算について

常任理事(総務担当) 阿部 重樹

本院は二〇二六年の創立百五十周年を迎える。TG Grand Vision 150を策定して、東北・北海道地区で「比類なき学校」となっている。加えて、加速する少子化による激動の時代において、まさに「社会から選ばれる学校」としての東北学院を表現するための「導きの糸」に

予算について

常任理事(財務担当) 鈴木 勇

二〇二六年度の学校法人東北学院(以下、「本院」という)の予算は、「TG Grand Vision 150」第III期中期計画(二〇二六年度～二〇三〇年度)及び「中期財政フレーム第五期(二〇二六年度～二〇三〇年度)」の財政指標の達成を念頭とした予算編成方針に基づき編成を行った。

【事業活動収支予算書】

一〇二六年度予算案の概略に基づき、事業活動収支予算書について説明する。

【教育活動収支】

一、教育活動収入

教育活動収入計は、二〇二五年度補正予算(以下、「前年度補正予算」という)に比べて、約四億六千二百七十七万円の増と見込んだ。これは主に、学生生徒等納付金、経常費等補助金及び雑収入の増によるものである。以下に詳しく述べる。

①教育活動収入の中で最も大きな割合を占める学生生徒等納付金は、前年度補正予算に比べて約二億四千六百十九万円の増の約五億五千九百三十一万四千四百八十九円と見込んだ。主な理由は、大学部門における学生生徒等納付金の改定に伴う授業料等の増によるものである。

②経常費等補助金は、約一億四千八百八十八万円の増と見込んだ。これは主に、学校法人部門における「大学・高専機能強化支援事業」の助成金の増等によるものである。

③雑収入は、主に大学部門における退職職金財団交付金収入の増等により、前年度補正予算に比べて約千四

百六十九万円の増と見込んだ。

二、教育活動支出

教育活動支出計は、前年度補正予算に比べて約二億七千九百九十九万七千七百九十九円と見込んだ。これは主に、東北学院総合情報基盤システム(以下、「SIS」)の構築委託業務と、大学部門における教育系システム(以下、「EIS」)の導入開発業務の終了に伴う情報管理委託費の減等によるものである。

③管理経費は、前年度補正予算に比べて約二億二千四百六十九万円の増と見込んだ。減少の理由は教育研究経費と同様である。

その結果、教育活動収支差額は、前年度補正予算に比べて約七億九千七百九十九万五千四百五十二万円の収入超過と見込んだ。

【基本金組入額合計】

基本金組入額合計は、前

度(がスタートする。創立百五十周年を迎える二〇三〇年までと第十年度であることから、次期第四期中期計画は「完成に向けた中期計画」となり、第三期中期計画は「TG Grand Vision 150」の「発展の核」として位置付けられる。本年度の事業計画は、「この第三期中期計画の初年度に当たる二〇二六年度の単年度計画」として策定した。

度(がスタートする。創立百五十周年を迎える二〇三〇年までと第十年度であることから、次期第四期中期計画は「完成に向けた中期計画」となり、第三期中期計画は「TG Grand Vision 150」の「発展の核」として位置付けられる。本年度の事業計画は、「この第三期中期計画の初年度に当たる二〇二六年度の単年度計画」として策定した。

度(がスタートする。創立百五十周年を迎える二〇三〇年までと第十年度であることから、次期第四期中期計画は「完成に向けた中期計画」となり、第三期中期計画は「TG Grand Vision 150」の「発展の核」として位置付けられる。本年度の事業計画は、「この第三期中期計画の初年度に当たる二〇二六年度の単年度計画」として策定した。

度(がスタートする。創立百五十周年を迎える二〇三〇年までと第十年度であることから、次期第四期中期計画は「完成に向けた中期計画」となり、第三期中期計画は「TG Grand Vision 150」の「発展の核」として位置付けられる。本年度の事業計画は、「この第三期中期計画の初年度に当たる二〇二六年度の単年度計画」として策定した。

度(がスタートする。創立百五十周年を迎える二〇三〇年までと第十年度であることから、次期第四期中期計画は「完成に向けた中期計画」となり、第三期中期計画は「TG Grand Vision 150」の「発展の核」として位置付けられる。本年度の事業計画は、「この第三期中期計画の初年度に当たる二〇二六年度の単年度計画」として策定した。

度(がスタートする。創立百五十周年を迎える二〇三〇年までと第十年度であることから、次期第四期中期計画は「完成に向けた中期計画」となり、第三期中期計画は「TG Grand Vision 150」の「発展の核」として位置付けられる。本年度の事業計画は、「この第三期中期計画の初年度に当たる二〇二六年度の単年度計画」として策定した。

度(がスタートする。創立百五十周年を迎える二〇三〇年までと第十年度であることから、次期第四期中期計画は「完成に向けた中期計画」となり、第三期中期計画は「TG Grand Vision 150」の「発展の核」として位置付けられる。本年度の事業計画は、「この第三期中期計画の初年度に当たる二〇二六年度の単年度計画」として策定した。

度(がスタートする。創立百五十周年を迎える二〇三〇年までと第十年度であることから、次期第四期中期計画は「完成に向けた中期計画」となり、第三期中期計画は「TG Grand Vision 150」の「発展の核」として位置付けられる。本年度の事業計画は、「この第三期中期計画の初年度に当たる二〇二六年度の単年度計画」として策定した。

度(がスタートする。創立百五十周年を迎える二〇三〇年までと第十年度であることから、次期第四期中期計画は「完成に向けた中期計画」となり、第三期中期計画は「TG Grand Vision 150」の「発展の核」として位置付けられる。本年度の事業計画は、「この第三期中期計画の初年度に当たる二〇二六年度の単年度計画」として策定した。

度(がスタートする。創立百五十周年を迎える二〇三〇年までと第十年度であることから、次期第四期中期計画は「完成に向けた中期計画」となり、第三期中期計画は「TG Grand Vision 150」の「発展の核」として位置付けられる。本年度の事業計画は、「この第三期中期計画の初年度に当たる二〇二六年度の単年度計画」として策定した。

度(がスタートする。創立百五十周年を迎える二〇三〇年までと第十年度であることから、次期第四期中期計画は「完成に向けた中期計画」となり、第三期中期計画は「TG Grand Vision 150」の「発展の核」として位置付けられる。本年度の事業計画は、「この第三期中期計画の初年度に当たる二〇二六年度の単年度計画」として策定した。

度(がスタートする。創立百五十周年を迎える二〇三〇年までと第十年度であることから、次期第四期中期計画は「完成に向けた中期計画」となり、第三期中期計画は「TG Grand Vision 150」の「発展の核」として位置付けられる。本年度の事業計画は、「この第三期中期計画の初年度に当たる二〇二六年度の単年度計画」として策定した。

度(がスタートする。創立百五十周年を迎える二〇三〇年までと第十年度であることから、次期第四期中期計画は「完成に向けた中期計画」となり、第三期中期計画は「TG Grand Vision 150」の「発展の核」として位置付けられる。本年度の事業計画は、「この第三期中期計画の初年度に当たる二〇二六年度の単年度計画」として策定した。

度(がスタートする。創立百五十周年を迎える二〇三〇年までと第十年度であることから、次期第四期中期計画は「完成に向けた中期計画」となり、第三期中期計画は「TG Grand Vision 150」の「発展の核」として位置付けられる。本年度の事業計画は、「この第三期中期計画の初年度に当たる二〇二六年度の単年度計画」として策定した。

事業活動収支予算書

2026年4月1日から 2027年3月31日まで

Table with columns: 科目, 2026年度予算, 2025年度補正予算, 差異. Includes sections for 教育活動, 教育活動外収支, 経常収支差額, 特別収支, and 基本金組入額合計.

資金収支予算書

2026年4月1日から 2027年3月31日まで

Table with columns: 科目, 2026年度予算, 2025年度補正予算, 差異. Includes sections for 収入の部 and 支出の部.

収益事業会計予算書

2026年4月1日から 2027年3月31日まで

Table with columns: 科目, 2026年度予算. Includes sections for I 営業損益, II 営業外損益, and 当期純利益.

継続的に取り組み、教育効果と実績の向上に努めていく。東北学院(以下、「本院」という)の予算は、「TG Grand Vision 150」を策定して、東北・北海道地区で「比類なき学校」となっている。加えて、加速する少子化による激動の時代において、まさに「社会から選ばれる学校」としての東北学院を表現するための「導きの糸」に

別最適な学習及び協働的な学習を提供する教育を着実に実践する。東北学院(以下、「本院」という)の予算は、「TG Grand Vision 150」を策定して、東北・北海道地区で「比類なき学校」となっている。加えて、加速する少子化による激動の時代において、まさに「社会から選ばれる学校」としての東北学院を表現するための「導きの糸」に